

学生からのメッセージ

オープンキャンパスに参加させてもらって新垣慧人

福岡歯科大学 第5学年

私は第1学年から第5学年までの5年間、福岡歯科大学のオープンキャンパスに学生スタッフとして参加させていただきました。このオープンキャンパスでは中高生を中心に私たちが実際にやっている実習を簡略化したものを体験してもらったり、医科歯科総合病院などの施設を案内したり、参加者が楽しめるような工夫がなされています。実際にスタッフとして参加してみて、小児型の実習用ロボットの



ように普段何気なく見ているものが実際には福岡歯科大学にしかないものであったり、第1学年のころ学生スタッフとして見ていた医科歯科総合病院の施設を第5学年になって実際に登院実習生として利用していることに感慨深く感じたりもしています。また参加する中学生、高校生とのコミュニケーションの中で、「歯科医師ってどんな職業か」「福岡歯科大学では何が学べるのか」「大学に入ってからほどぐらい勉強するのか」「大学生活は楽しいのか」などといった質問を受け、大学生活と自分を見つめるきっかけにもなりました。学生スタッフとして、教職員や先輩後輩、そのほかスタッフの方に支えられ、福岡歯科大学の良さをより多く感じる事ができるよい機会でした。この活動で得たことを忘れず、自身の今後に生かしていきたいです。



保護者からのメッセージ

未来の歯医者さんたちへ

高城 喜典

福岡歯科大学 学生後援会評議員

私は歯科治療を受けることが苦手だった。子どものころは独特の匂いと音に足がすくんだものである。40才を過ぎて生まれ故郷にもどり、中学時代の同級生が歯科医院を継承開業している



ことを知った。元々優しく大人しい男だったが、診察室で久方ぶりに再会した彼は昔のまままで決して偉ぶることなく、しかし凛とした態度に歯科医としての自信を感じた。私の不安が伝わったのであろう、理路整然と現在の状況と治療方法を話した後、穏やかに心配ないと話して治療をしてくれた。驚くほど苦痛も恐怖心も感じず治療は終わった。それ以降は何度も治療をお願いしているがいつも安心感、信頼感は変わらない。

よく評判の良い歯医者さんという言葉を聞くが、多くは先生が優しいとか話をよく聞いてくれるというのが判断理由のようだ。もちろん我々患者には技術や知識の深さは分かるはずもないので仕方ない。しかし歯科であれ、医科であれ一定レベル以上の診断治療技術を身につけることは絶対必要条件であり、それがなければ人当たりが良いというのとは全く意味をなさないと思う。

前述の同級生の歯科医は幼少期から両親の教育で優しい気持ちを持ち、SNSで拝見すると大学在学中、卒後も知識および技術習得のため人一倍研鑽に励んできたようだ。だからこそ患者の方々の信頼も厚いのだろう。ちなみに、その信頼する歯科医は福岡歯科大学卒業と聞いた。

New Sophia コラム

椿

冬から春にかけて、花材に乏しい時期に鮮やかな色合いの家を明るく彩ってくれるのが椿 *Camellia japonica*。日本原産の常緑樹で、学名に日本を表す *Japonica*。ジャポニカを付けたのは植物学の泰斗のリンネ。ツバキ属を示す *Camellia* は椿をヨーロッパで紹介したイェス会修道士の *Kamelius* 由来している。最新の分類では、茶の木 *Camellia sinensis* もツバキ属。

冬でも常緑で日照の要求も少ないために育てやすい。他家授粉をしやすいため、さまざまな園芸品種が作られている。庭木としてよく見るが、山野でも原種のヤブツバキをしばしば見かける。

木質が硬いため、印鑑、将棋の駒、櫛などに使われ、種子から採取するツバキ油は、整髪剤や食用油としても使われる。日本3大うどんとされる五島うどんは、ツバキ油を練り込んで作るため、細麺でありながらコシが強い。あごだしと合わせると美味。

(内藤 徹)



編集後記

令和5年の第1号をお届けします。本号では学園の様々なニュースとともに、50周年記念講堂に移転しリニューアルオープンした学生食堂を紹介しています。今年も種々の学園の情報を読者の皆様にお届けできるよう、編集部一同で取り組んでまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。